

株式会社 エーワン精密

平成20年6月期決算説明会資料

内 容

事業内容	2	部門別状況～自動旋盤用カム部門	11
当社の事業展開	3	部門別状況～切削工具部門	12
当社の特色	4	設備投資と減価償却	13
平成20年6月期の損益状況	5	今後の事業展開～コレットチャック部門	14
貸借対照表	6	今後の事業展開～自動旋盤用カム部門	15
キャッシュ・フローの状況	7	今後の事業展開～切削工具部門	16
部門別売上状況	8	切削工具部門の戦略と受注状況	17
輸出売上状況	9	業績の推移	18
部門別状況～コレットチャック部門	10	実質機械受注と月次売上高	19

事業内容

コレットチャックの製造・販売（昭和51年～）

自動旋盤用カムの製造・販売（昭和45年～）

切削工具再研磨及び特殊切削工具製造・販売（平成11年～）

当社の事業展開

経営理念
高品質な製品をより低コスト、短納期で
顧客のニーズに応え製品を提供する

ものづくりに不可欠な工具を扱う

利益を出せる事業を行う

業界のトップを狙える事業を行う

当社の特色

顧客ニーズの徹底した追及
顧客の指定する仕様に1本から対応、短納期(標準品は翌日納品)

顧客への直販比率が高く製造・販売両面で利益を享受できる

13,000社に及ぶ顧客からリピートオーダーが入る

平成20年6月期損益状況

(単位：千円)

	平成18年6月期		平成19年6月期		平成20年6月期		要因分析
		%		%		%	
売上高							
コレットチャック	1,613,168	77.5	1,648,327	74.6	1,557,987	71.3%	特に上期顧客企業の機械稼働率低下、前期比5.5%減
自動旋盤用カム	144,186	6.9	120,416	5.4	102,015	4.60%	前期比15.2%減
切削工具	324,586	15.6	442,248	20.0	526,353	24.1%	従来の再研磨と下期から特殊品製造、前期比19.0%増
合計	2,081,940	100.0	2,210,992	100.0	2,186,356	100.0	前期比1.1%減
売上原価	978,194	47.0	1,038,679	47.0	1,072,306	49.0%	減価償却費は36,615千円増加の194,751千円
売上総利益	1,103,746	53.0	1,172,313	53.0	1,114,049	51.0%	設備投資：17期 319,382千円 ：18期 196,955千円
販売費及び一般管理費	322,637	15.5	324,993	14.7	319,450	14.6%	人員増は2名
営業利益	781,108	37.5	847,320	38.3	794,598	36.4%	
経常利益	869,487	41.8	948,751	42.9	822,779	37.6%	営業外利益で受取利息、配当金等が74,962千円減
当期純利益	532,367	25.6	562,075	25.4	487,817	22.3%	

貸借対照表

単位:千円

事業年度 資産	平成18年6月期		平成19年6月期		平成20年6月期		要因分析
現預金	2,433,967	35.9%	2,091,127	29.0%	2,345,216	32.9%	
売上債権	500,441	7.4%	486,422	6.7%	487,043	6.8%	
棚卸資産	140,816	2.1%	169,619	2.3%	194,804	2.8%	仕掛品棚卸高 20,623千円増
その他流動資産	227,469	3.3%	719,210	10.0%	822,656	11.6%	新規設備 196,955千円
固定資産	3,481,960	51.3%	3,748,094	52.0%	3,272,020	45.9%	オーバーホール 21,800千円
資産合計	6,784,655	100.0%	7,214,474	100.0%	7,121,741	100.0%	投資有価証券時価評価 528,690千円減
負債・資本							
買入債務	17,791	0.3%	15,231	0.2%	17,154	0.2%	
その他流動負債	320,417	4.7%	307,344	4.3%	229,072	3.2%	
固定負債	387,578	5.7%	370,832	5.1%	259,416	3.7%	
負債合計	725,786	10.7%	693,408	9.6%	505,643	7.1%	
資本の部	6,058,868	89.3%	6,521,066	90.4%	6,616,097	92.9%	
負債・資本合計	6,784,655	100.0%	7,214,474	100.0%	7,121,741	100.0%	

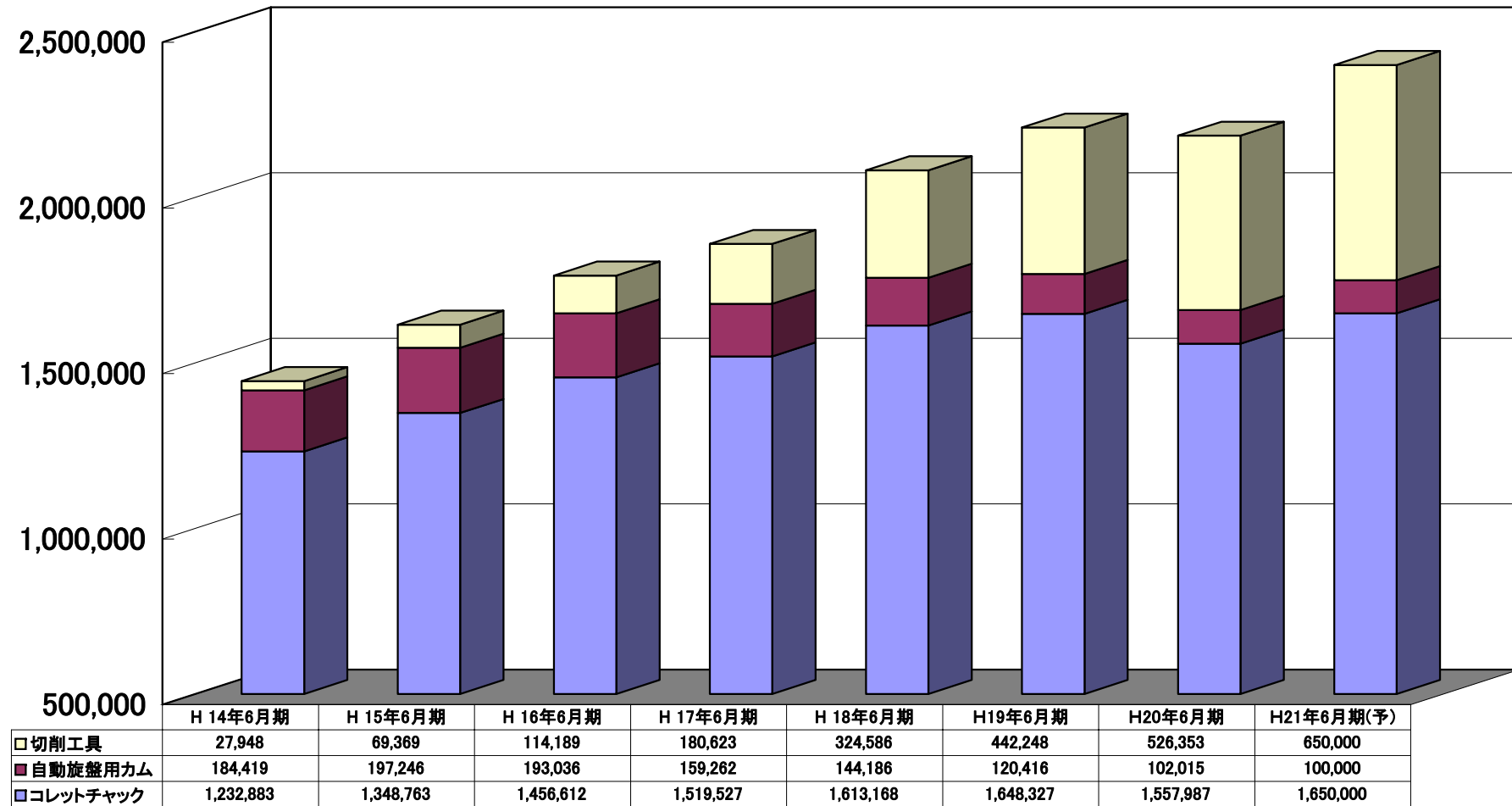
キャッシュ・フローの状況

単位：千円

	平成18年6月期	平成19年6月期	平成20年6月期
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引き前の当期純利益	871,487	934,545	822,779
減価償却費	146,369	158,136	194,751
法人税等の支払額	-315,535	-397,640	-359,370
その他項目の増減	-22,903	14,297	-142,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	679,419	709,338	515,875
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	-153,724	-339,190	-196,955
その他項目の増減	1,081,180	-47,447	-577,984
投資活動によるキャッシュ・フロー	540,589	-386,638	-774,940
財務活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の発行による収入			
配当金の支払額	-119,655	-158,818	-167,953
財務活動によるキャッシュ・フロー	-119,655	-158,818	-167,953
現金及び現金同等物の増減額	1,100,354	163,881	-427,018
現金及び現金同等物の期首残高	400,086	1,500,440	1,664,321
現金及び現金同等物の期末残高	1,500,440	1,664,321	1,237,303

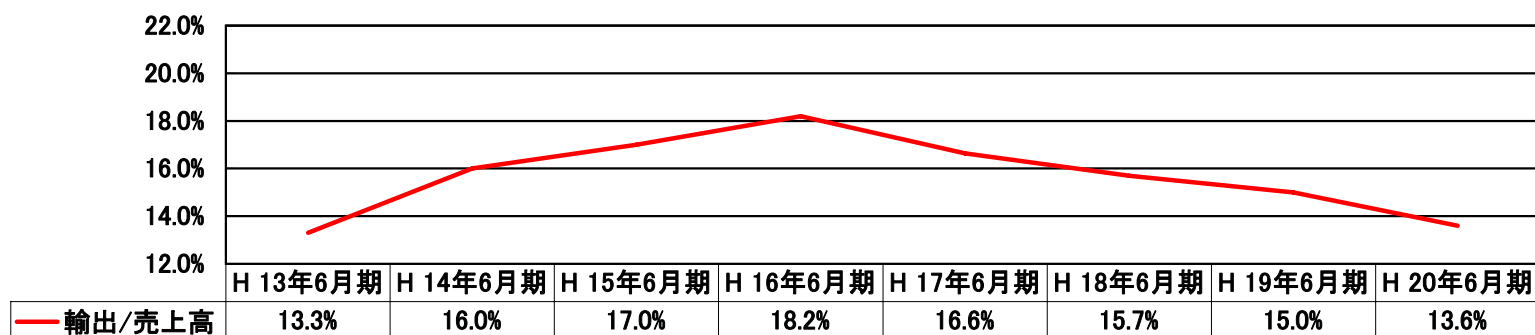
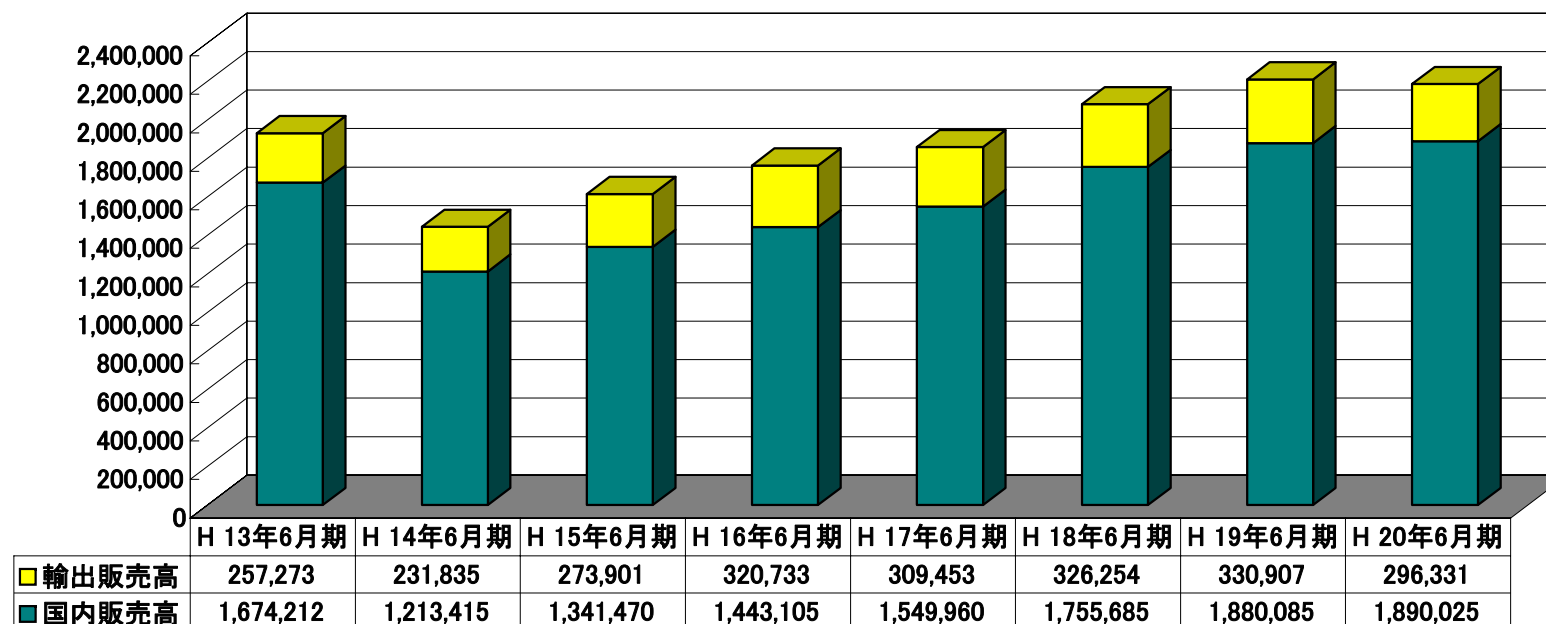
部門別売上状況

(単位：千円)

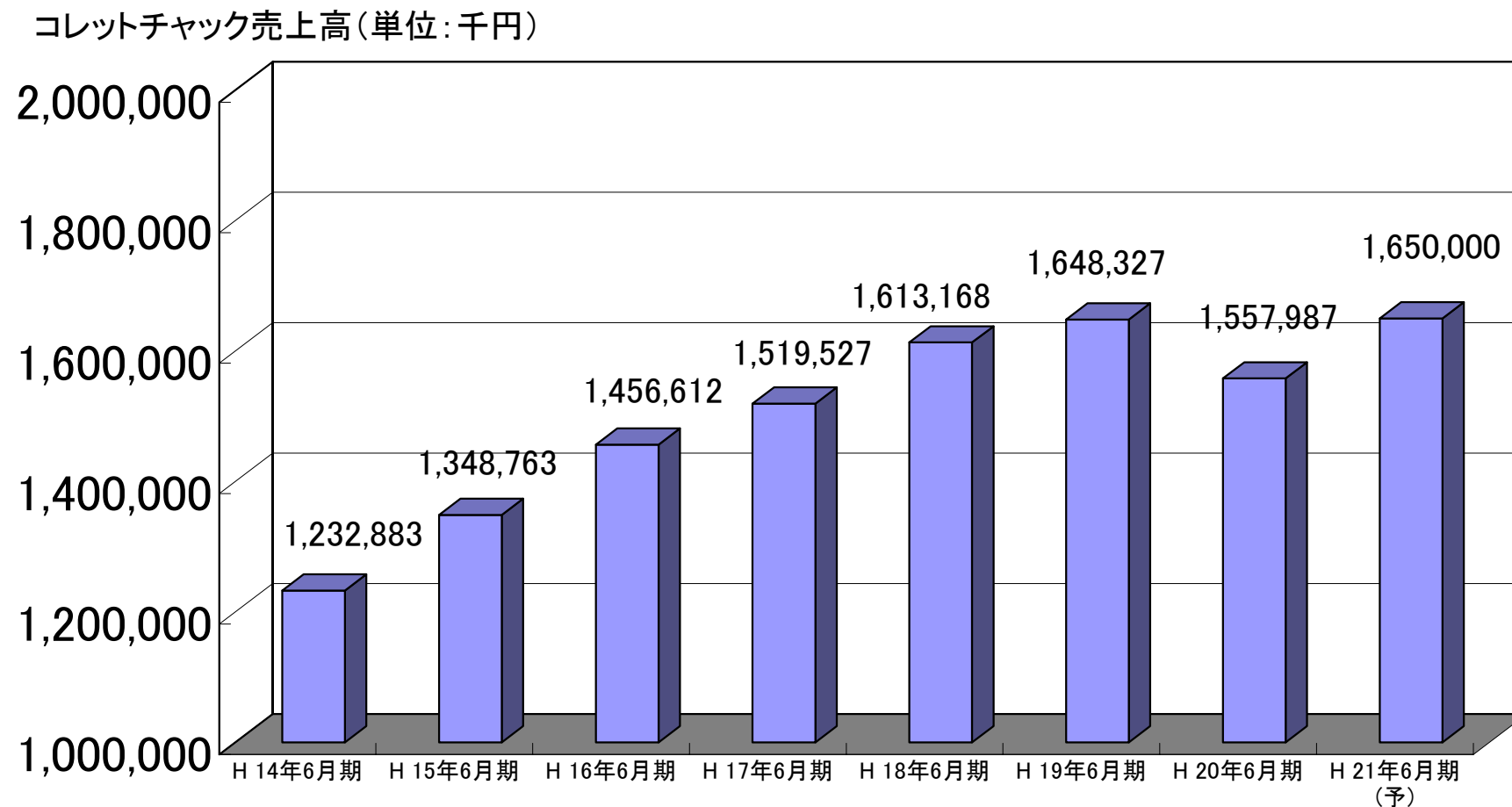


輸出売上状況

(単位：千円)

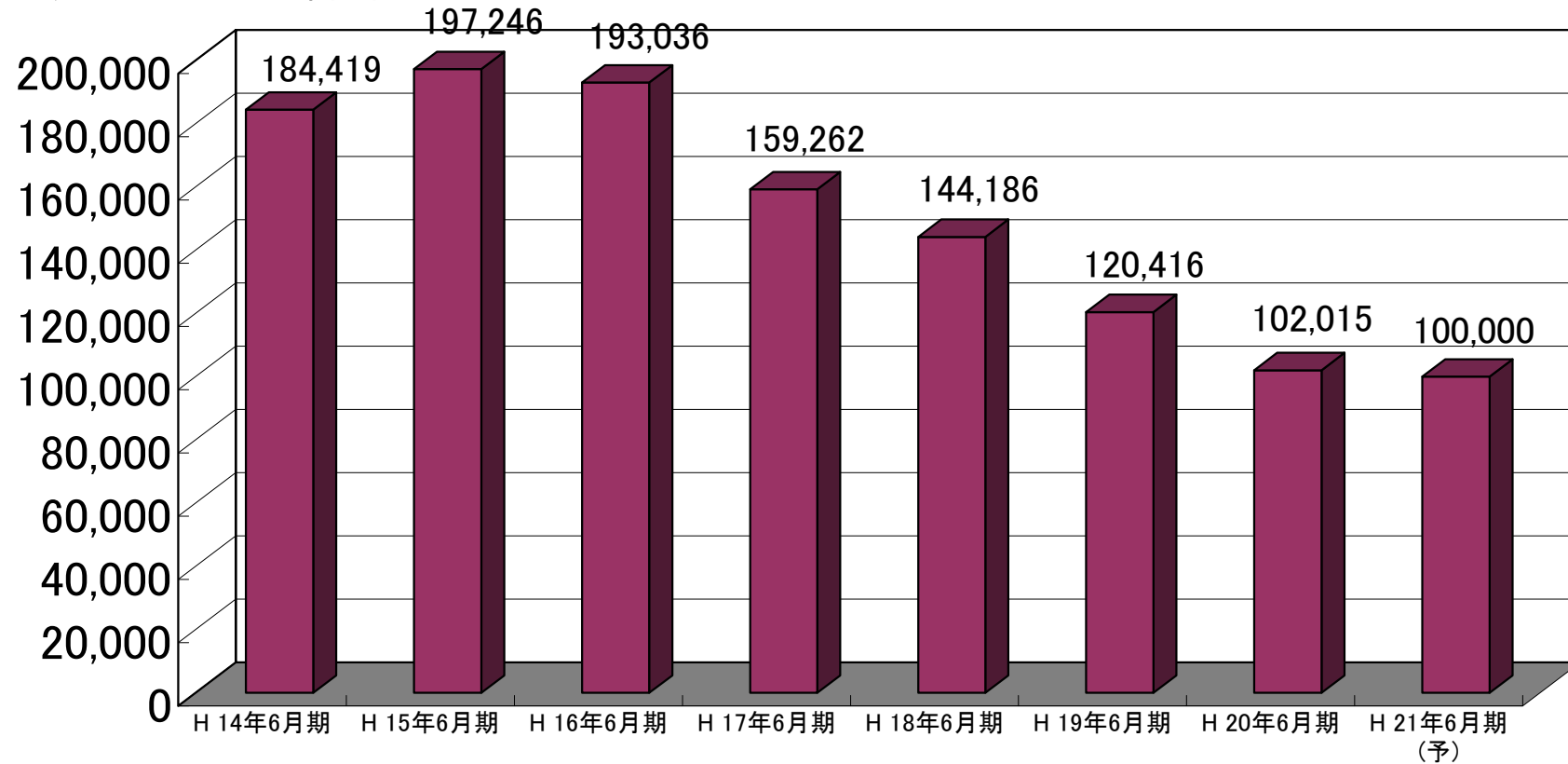


部門別状況 ～ コレットチャック部門



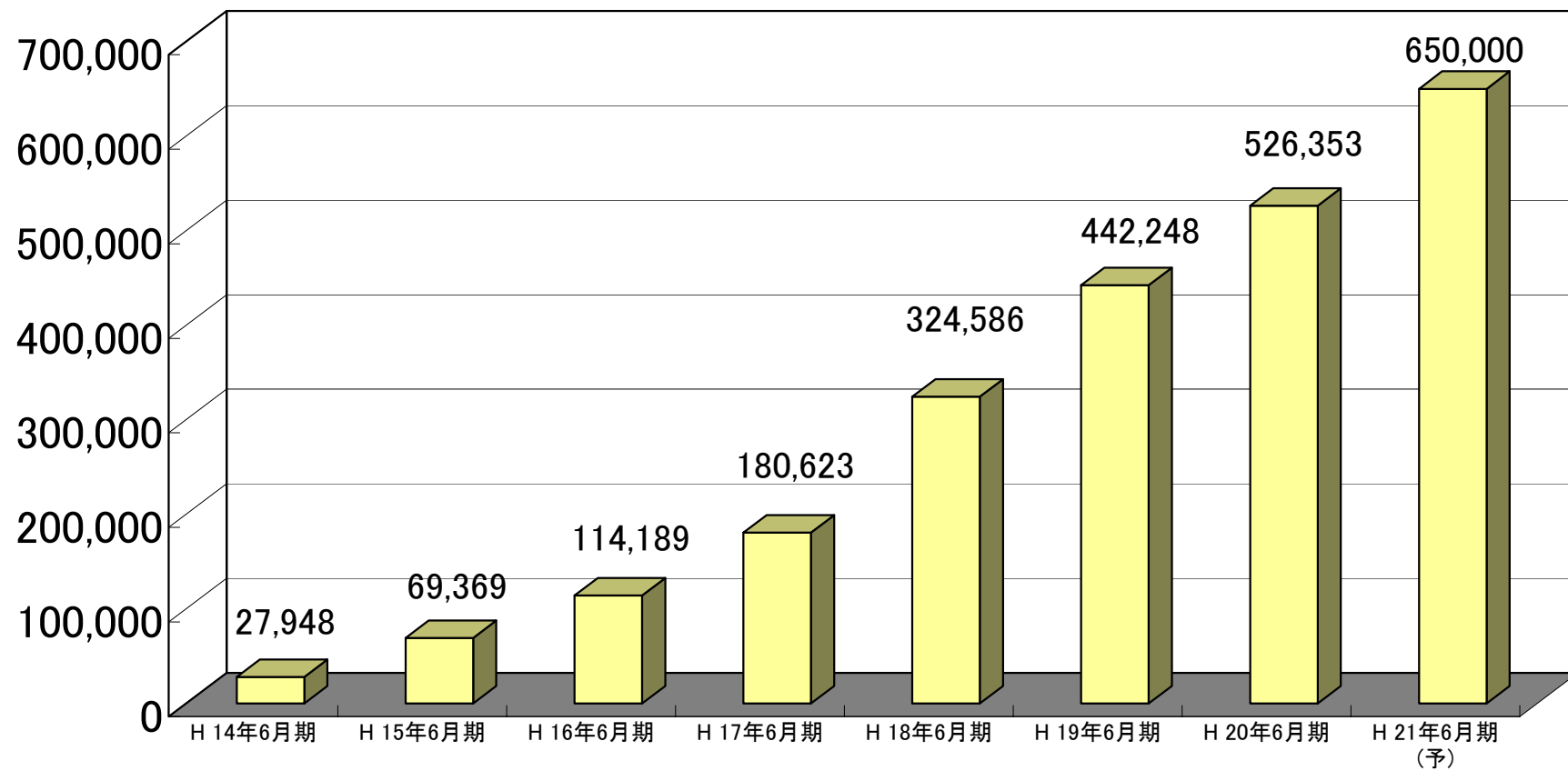
部門別状況 ～ 自動旋盤用カム部門

自動旋盤用カム売上高(単位:千円)



部門別状況 ～ 切削工具部門

切削工具部門売上高(単位:千円)



設備投資と減価償却

	H16年6月期	H17年6月期	H18年6月期	H19年6月期	H20年6月期
設備投資額 (単位:千円)	189,541	144,236	153,724	319,382	196,955

	H16年6月期	H17年6月期	H18年6月期	H19年6月期	H20年6月期
減価償却費 (単位:千円)	135,021	140,994	146,369	158,136	194,751

今後の事業展開 ～ コレットチャック部門

事業環境

- ◇金属部品加工の微細化・精密化の進展
- ◇大量生産品や高精度を要求されない部品は海外生産へ
- ◇工具の売上は機械稼働率とほぼ連動

競合状況

- ◇国内は数社、中国等の工具メーカーの台頭（納期・品質で不安定）

当社の事業展開

- ◇専用機・NC旋盤向け特殊コレットチャックの対応力向上
- ◇顧客の要望の充足、納期・品質の徹底

今後の事業展開 ～ 自動旋盤用カム部門

事業展開

- ◇カム式自動旋盤(すでに製造中止)は単品大量生産向きで少量ながらカムの需要は継続
- ◇将来的には減少傾向

競合状況

- ◇数億円の市場規模で既存の中小企業が継続している

当社の事業展開

- ◇既存の償却済設備と現状の人員で対応
- ◇低コスト製造を徹底

今後の事業展開 ～ 切削工具部門

事業環境

- ◇加工複雑化に伴い特殊刃物ニーズ拡大
- ◇高価な超硬工具普及により再研磨ニーズ増大
- ◇加工工程短縮・効率化を図るため、高精度の特殊切削工具へのニーズが高まる

競合状況

- ◇市場規模推定250億円
- ◇メーカー系、工具商社、各地域ごとに中小規模専門多数

当社の事業展開

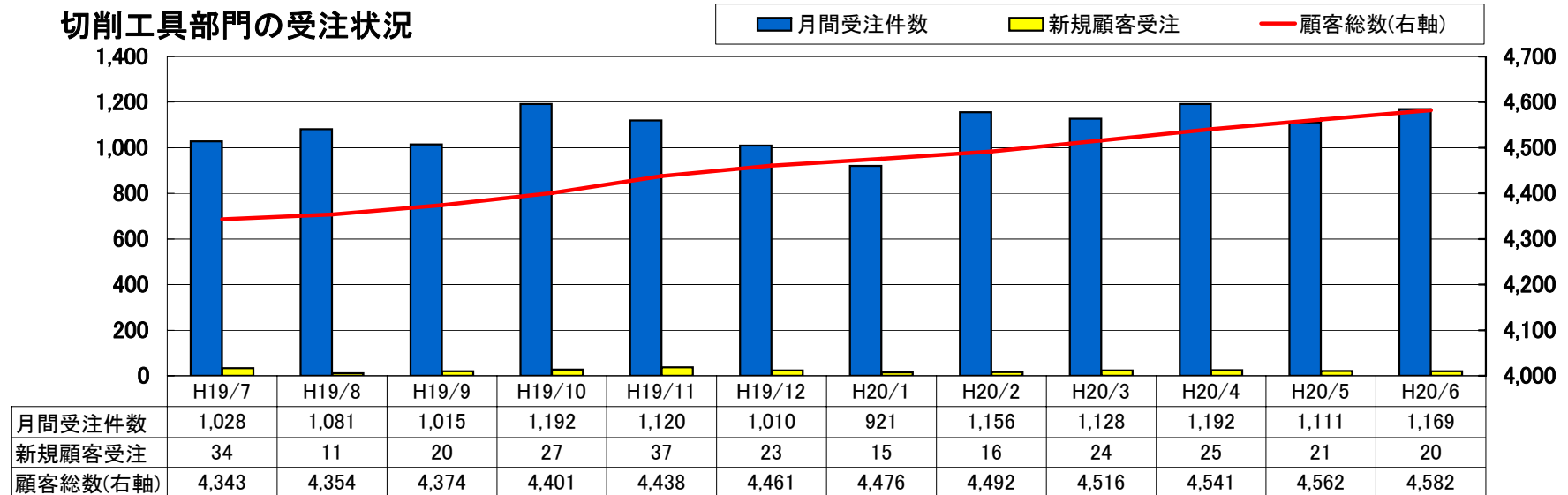
- ◇営業地域拡張し、知名度・認知度向上を目指す
- ◇特殊ものへ対応範囲を拡大し、新たな顧客層の拡大に努める

切削工具部門の戦略と受注状況

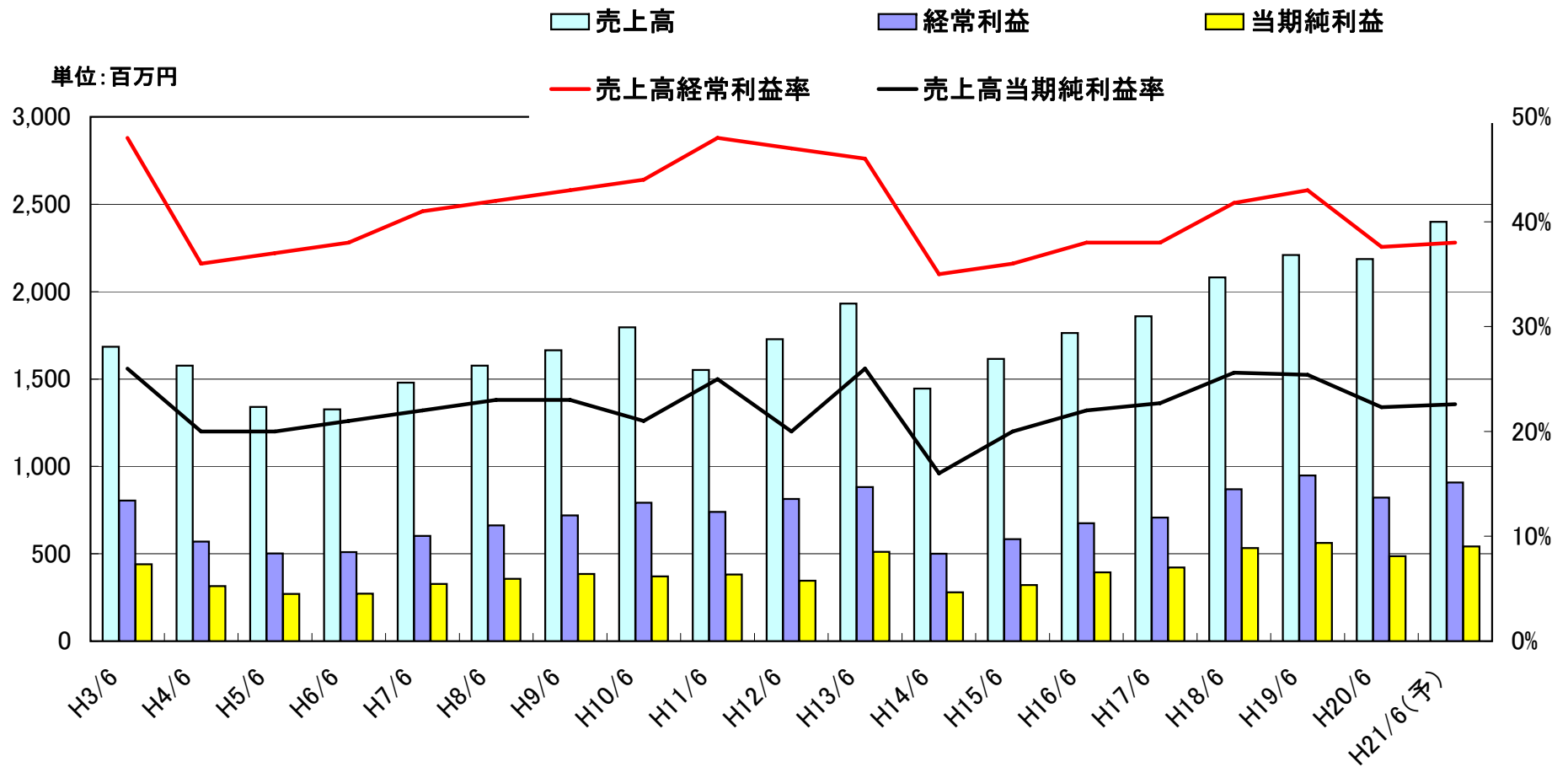
受注体制(人材、設備、社内オペレーション)を万全にする

新規設備導入により特殊ものへの対応を強化する

営業地域拡大し認知度向上と地域浸透度を高める



業績の推移



実質機械受注と月次売上高

